



樹妙だより

No.225 2026/8.9



撮影：後藤千紘(写真部)



撮影：片貝愛莉(写真部)

月影祭



慈 悲 喜 捨

桐生市は全国で一番気温が高い街になりましたが、私は太陽が沈みながら昼から夜へと変わっていく夏の夕暮れが好きです。

小学生の頃は、夏休みに友だちと魚や蝉を捕ったり、川で泳いだりと、自然の中で毎日遊んでいました。家に帰ると、母が台所で夕飯の支度を始め、祖父がテレビで相撲を見ていました。あの頃に聞いた、お豆腐屋さんのラッパや、神社の盆踊りの音などを思い出すととても懐かしくなります。

また、夏季休業中に生徒を引率した海外研修も思い出の一つです。場所はポートランドでしたが、私がお世話になった家はモルモン教徒で、お酒もカフェインも口にしませんでした。両親は、私が起きる時刻(6時)には仕事へ出かけていて、家には大学生の長男と、高校生と中学生の妹がいました。だから、朝食は毎日自分で作りました。また、週末のお母さんは休日になっていて家にはいませんでした。私はお父さんと陸上競技場へ行ったら

ンニングやトレーニングをしたり、天ぷらやすき焼き、カレーなどを作ってみんなで食べました。

毎日健康的な生活をしていたので、帰国時はとても体が締まっていました。羽田空港まで校長先生が迎えにきてくださいましたが、私の姿を見て、痩せるような思いをしてきたと思ったのか労いの言葉をかけてくださいました。

たしかに、日常会話や生徒の引率は容易ではなかったのですが、異国の文化や生活の中で様々な学び、楽しい時を過ごしてきました。そして、帰国して1年が過ぎた頃、ホームステイ先の長男が来日しました。名所を案内したり、買い物に行ったりしたので日本をととても気に入ってくれました。若い時に、異国の地で生活して習慣や文化に触れながらコミュニケーション能力を身につけることは、グローバル化が進む今日では必要不可欠なことだと思います。

暑い夏の合間に、思い出を辿りながら一時を休み、明日を迎えようと思っています。

教頭 金安伸一



樹徳高等学校長
野口秀樹

生徒たちが待ちに待った夏休みが始まりました。楽しい計画を立てている人も多いことでしょう。しかし、その一方で、闇バイトをはじめとする大人が仕掛ける危険な誘惑もあります。規則正しい生活を心掛け、自分自身を大切にしながら、有意義な毎日を送ってほしいと思います。私たち教職員も、ご家庭とともに生徒たちを温かく見守ってまいります。

今年も厳しい暑さが続いています。毎年のように「観測史上最高」という言葉を耳にし、地球温暖化の影響を実感する夏となっています。世界ではさまざまな考え方がありますが、私たちは地球というかけがえのない環境の中で生かされています。その恵みに感謝し、小さなことでも環境を大切にする行動を心掛けたいものです。

さて、八月はお盆の季節です。日本のお盆は、ご先祖様をお迎えし、命のつながりに感謝する美しい文化です。一般的には八月十三日から十六日までがお盆とされています。キュウリの馬は少しでも早く家族のもとへ帰ってきていただくために、ナスの牛は極楽浄土へゆっくりお戻りいただくために用意すると伝えられています。そこには、ご先祖様を思う日本人の優しい心が込められています。目には見えなくても、亡くなった家族やご先祖様に語りかけ、好物をお供えし、一緒に食卓を囲む。このような習慣を大切に受け継いできた日本という国は、本当に素敵な国だと思います。私もいつの日か、ご先祖様の仲間入りをする日が来るでしょう。その時には、きっと家族に会える喜びを胸いっぱいを感じながら、急いで我が家へ帰ってくるのだろうと想像することがあります。

さて、お盆はご先祖様に思いをはせる季節でもあります。今回は、私どもの学園の礎を築いた祖父、明照学園創設者・野口周善先生について触れたいと思います。野口周善先生がこの世に存在してくださったからこそ、今日の樹徳があります。そして私自身も、その命のつながりの中に生かされています。約四十万人に及ぶ卒業生とのご縁も、すべて先生を源とするものです。

明治十一年（一八七八年）に生まれた周善先生は、九歳で寺に入り、師のもとで学ぶ機会を得ました。当時、多くの人にとって教育

は決して当たり前のものではありませんでした。その貴重な機会を先生は何よりも大切に、知識だけでなく人格も磨き、人としての基礎を築いていかれました。学びは、さらに新しい学びを呼びました。台湾、中国、ロシア、ヨーロッパ、アメリカ、東南アジアなど世界各地を巡り、ハワイでは講演を行う機会にも恵まれました。学び続ける人には、新しい道が開かれていく。そのことを先生の人生が教えてくれています。

しかし、先生は学ぶだけでは終わりませんでした。保育所、職業紹介所、公衆便所、私設図書館、盲学校、中学校、女学校など、地域のために次々と事業を興しました。

「学んだことを形にする。」

これこそが創設者の生き方であり、樹徳のDNAです。

昭和八年には、講談社創設者・野間清治氏の協力を得て共生図書館を開設しました。蔵書四百冊から始まった二階建ての洋館で、私も幼い頃に遊んだ思い出があります。建物は現在ありませんが、「学びを社会のために生かす」という創設者の志は、今も樹徳の教育の中に息づいています。

私は創立百年を記念して共生図書館を再建してみました。定期試験が近づきますと毎日座席取りが大変なほど人気のある図書館になりました。コンセプトはもう一度行きたい図書館、今後も生徒諸君がうれしそうに活用してくれることを望んでおります。創立者の「学んだことを形にする」実例だと思って活用してください。

生徒の皆さん。この夏休みに学んだこと、感じたこと、挑戦したことを、ぜひ何か一つでも「形」にしてください。本を一冊読み終えることでも、家族の手伝いを続けることでも、地域でボランティアをすることでも構いません。小さな実践の積み重ねが、皆さんの未来をつくれます。

二学期、ひと回り成長した皆さんに会えることを、心から楽しみにしています。

合掌



再建された共生図書館

飛翔の夏、全国の舞台へ ―インターハイ壮行会開催―

七夕の佳きにあたる七月七日、本校講堂において全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の壮行会を執り行いました。



ラグビー部によるエール

【全国大会出場 部活動】

- ・ 陸上競技部
- ・ 男子卓球部 / 女子卓球部
- ・ 相撲部
- ・ 少林寺拳法部
- ・ トランポリン（個人参加）



日々の厳しい鍛錬を重ね、見事に掴み取った全国への切符。選手一人ひとりが誇り高さ「樹徳魂」を胸に、全国の強豪に挑みます。これまでの努力の成果を十二分に発揮し、輝かしい実績を残してくれることを心より期待しております。

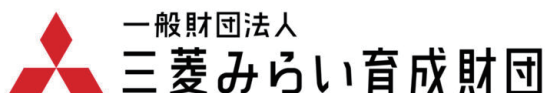
生徒の皆さんはもとより、保護者の皆様におかれましても、温かいご声援をもって選手たちを後押ししていただけますよう、よろしくお願い申し上げます。



（撮影；写真部）

三菱みらい育成財団の助成事業に採択

―探究学習の新たな挑戦―



この度、本校の探究学習の取組が、一般財団法人三菱みらい育成財団「心のエンジンを駆動させる」プログラムの助成対象に採択されました。本財団への採択は、本校のこれまでの歩みが「探究学習先進校」として認められた証であり、大変名誉なことと感じております。

採択された事業は「デジタル・プラットフォームと多層的伴走による『探究の自走化』事業の構築」です。3 年間の体系的な活動を基盤に、生徒が自ら問いを立てて行動する「自走化」を目指します。具体的には、Google サイトを活用した「樹徳ピッパの森」や独自の思考支援アプリを構築し、生徒が教員の指示を待たずに、自らの力で主体的に探究プロセスを突き進んでいける環境づくりに挑戦します。さらに、高校教員や上級生、大学生、大学教員らが連携した「多層的伴走体制」を確立し、生徒の学びを多角的にサポートします。

今後は探究学習先進校として、さらなる研究と実践に励み、この取組を力強く牽引していく決意です。変化の激しい時代を生き抜く「一生モノの思考スキル」を生徒一人ひとりに育むため、全校を挙げて邁進してまいります。これからの本校の探究学習の進化に、ぜひご期待ください。

進路指導部 進路研究主任 広井勉教諭



強いは優しい、優しいは強い

私は柔道部の顧問をしています。

そのため、生徒から「先生、強いってどういうことですか。」「柔道で勝てば強い人なんですか。」と聞かれることがあります。もちろん、試合に勝つことは大切です。しかし、私が柔道を通して学び、今でも一番大切にしている考え方は、「強いは優しい、優しいは強い」です。

これは、柔道だけではなく、学校生活や、将来社会に出たときにも通じる、人としての在り方を表している言葉だと思っています。

皆さんは「強い人」と聞くと、どんな人を思い浮かべますか。力がある人、運動が得意な人、勉強ができる人、何でも人より優れている人、等を想像するかもしれません。

しかし、本当に強い人とは、自分の力を、人を傷つけるためではなく、人を支えるために使える人です。

柔道では、自分より小さい相手や、経験の少ない相手と練習をすることがあります。そのような場面で、本当に強い選手は、自分が勝つことだけを考えません。相手が上達できるように受け方を工夫したり、練習後にアドバイスをしたり、けがをしないように気を配ったりします。

逆に、自分の強さを見せつけるような練習をする人は、一見強そうに見えても、本当の意味では強いとは言えません。まだ未熟ということです。

柔道には「自他共栄」という教えがあります。「自分だけが成長するのではなく、お互いに高め合い、共に成長していこう」という意味です。これは、勝負の世界においても変わりません。だからこそ、礼を大切にし、相手を敬い、感謝する文化があるのです。

私は、この考え方は学校生活でもまったく同じだと思っています。

例えば、困っている友達に「大丈夫？」と声を掛けること。荷物を運んでいる先生を手伝うこと。掃除を誰も見ていなくても最後までやること。提出物を期限までに出すこと。廊下ですれ違った先生や地域の方へ挨拶をすること。

どれも特別なことではありません。しかし、このような当たり前のことを続けるには、自分に負けない強さが必要です。

反対に、人をからかったり、陰で悪口を言ったり、自分さえ良ければいいという考え方は、一時的には楽かもしれませんが、しかし、そのような行動は周囲からの信頼を失い、自分自

身も成長できません。

本当に強い人は、人を見下す必要がありません。自分に自信があるからこそ、人を認め、励まし、支えることができます。

私は柔道部の生徒たちにも、「試合に勝つ前に、人として勝て。」という話をよくします。試合では勝つ人もいれば負ける人もいます。しかし、人としての勝負は毎日あります。

時間を守れたか。

約束を守れたか。

感謝を言葉で伝えられたか。

失敗した仲間を、責めるのではなく励ませたか。

誰かが見ていないところでも、誠実に行動できたか。

これらは毎日、自分自身との勝負です。

柔道では「礼に始まり、礼に終わる」と言われます。この「礼」は、形だけのお辞儀ではありません。相手への感謝や敬意を表す「心」です。

学校生活でも同じです。挨拶や返事、礼儀や思いやりは、人との信頼関係を築く第一歩です。そして、信頼は一日では生まれません。毎日の小さな行動の積み重ねによって、少しずつ築かれていきます。

社会に出れば、学力や技術だけでは評価されません。約束を守れる人、責任を果たせる人、人を思いやれる人が信頼されます。その土台となるものが、今皆さんが送っている学校生活の中にあります。

「強いは優しい、優しいは強い。」

この言葉は、決して柔道部だけの言葉ではありません。

皆さん一人一人が、自分の力を誰かのために使える人になってください。困っている人を助けられる人になってください。そして、自分の弱さに負けず、毎日の当たり前を積み重ねられる人になってください。

そのような人こそ、本当に「強い人」です。

私は柔道を通して、このことを学びました。そして今は顧問として、生徒たちに、技術だけでなく、人としての強さを伝えていきたいと考えています。

ぜひ皆さんも、「強いは優しい、優しいは強い」という言葉を胸に、誰かを支えられる、温かく、そして芯のある人へ成長していってほしいと願っています。

根岸 諒

一貫校 中学校 だより

6年6色

3年生の様子について

24期生は、3年1組24名、3年2組23名、合計47名と中等部では最も多い在籍数で元気いっぱいの学年です。学年のスローガンは【終始一貫～樹徳中のリーダーになる～】です。

先日開催された月影祭では、いろいろな場面で中学校最高学年としてリーダーシップを発揮してくれました。学年のブースでは、11月にニュージーランドへ行くための事前学習として、「遊んで学ぼうNZ」と、昨年度のグローバルリサーチの探究の成果を発表しました。また、「3年生は進路目標を定め、目標に向かって学習に励もう。」を合い言葉にしています。この目標に向けて、学校長主導により「JUTOKU COMPASS」が開始されました。生徒一人ひとりが自分の強みや関心を見つめ、将来の「志（こころざし）」を育てていくためのキャリア探究プログラムです。「自己分析」から始まり、「社会探究」「学問への理解」「表現力」「社会課題SDGs」へと、毎週少しずつ歩みを進めています。点数のための学習とは異なり、「自分はどんな人間で、何に心を動かされ、社会とどう関わっていききたいのか」を、生徒自身の言葉で少しずつ形にしていきます。ここで育てた自己理解と探究の姿勢は、高等部での学びや、4年後の大学進学、さらにはその先の人生を支える大切な土台になると考えております。

学習は、すでに高校内容に入っている教科もあり、高校への橋渡しの時期になります。そして、2学期からは8時限目に行われる「リステ」は全員参加になり、本格的に学習モードに切り替わっていきます。中高一貫校なので、先取り学習で余裕をもって大学受験に備えていきます。24期生全員が、希望の進路に進めるように、私達教員も生徒のサポートをしっかりと行っていきたくと考えています。

3学年主任 進藤 友宏

4年生の様子について

23期生は、男子10名・女子24名、計34名で構成される学年です。生徒同士は4年目の付き合いとなり、お互いの個性や良さを認め合いながら、穏やかで思いやりのある人間関係を築いています。

学年目標には「自分の行動に責任をもつ」を掲げています。義務教育を終え、自らの意思で高等部への進学を選択した生徒たちが、高校生としての自覚と責任をもち、一人ひとりが主体的に行動できるよう願っています。

月影祭では、「格付けチェック」と「ニュージーランドでの経験をもとにしたグローバルリサーチ」のブースを運営しました。準備段階から当日まで試行錯誤を重ねながら協力した結果、人気投票では第2位をいただくことができました。学習面では、中間試験11科目、期末試験14科目という本格的な定期試験に臨みました。慣れない環境の中でも粘り強く努力を重ね、高校生活最初の壁を乗り越えることができました。また、「JUTOKU COMPASS」を活用して自らの強みや課題、興味・関心を見つめ直すとともに、探究の時間には「探究ナビ」を用いて探究活動の基礎を学んでいます。さらに、「リテラス論理言語能力検定1級」の取得を目標とした特別プログラムにも取り組み、論理的思考力や表現力の育成を図っています。夏休みにはオープンキャンパスなどへの参加を通して進路意識を高め、自らの将来について考える機会を充実させていきます。

高校生活の3年間はあっという間に過ぎていきます。一日一日を大切に積み重ねながら、生徒一人ひとりが希望する進路を実現できるよう、学年全体でともに成長していきたいと考えています。

4学年主任 家住 誠



◆行事紹介

中学校学年別東京研修・祖山参拝（7月9日）

梅雨明け前の30度を超える夏日の中、中学校の3学年合同で東京研修と祖山参拝が実施されました。全員で訪れた東京タワーと増上寺のほか、1年生は日本科学未来館、2年生は国立科学博物館、3年生は国会議事堂（参議院参観）をそれぞれ見学しました。

この研修は探究学習の一環として行われ、生徒たちは事前学習で立てた問いの答えを現地で五感を使って調査し、事後学習へと繋がります。普段なかなか訪れる機会のない場所への訪問に生徒たちは胸を躍らせており、学校の外で学年の仲間と共に主体的に行動するという、非常に貴重な経験を積む素晴らしい機会となりました。



幼稚園だより

◆有意義な夏休みを！

8月になりました。幼稚園では、7月17日（金）に1学期の終業式を終え、夏休みに入っております。今年は梅雨明けが遅れ雨天の日が多い中でジメジメした猛暑日となり、学期末は外で遊べないくらい暑い日が続いていましたので、一息つくにはよいタイミングであったかなと思います。ただ、夏休みに入っても、翌週には年長児による1泊2日のお泊まり会があり、預かり保育で毎日登園する園児もいるので、完全な夏休みという感じはいたしません。そんな夏休みですが、39日間の長い夏休みの中で、普段味わえない体験や家族の豊かな交流など、楽しく有意義な時間を過ごしていただきたいと願います。そして、成長した姿を2学期のスタートで見られることを楽しみにしています。

◆環境を通して行う教育を進める親の関わり方

幼児園教育は、学校教育法に規定する目的及び目標を達成するため、幼児期の特性を踏まえ、「環境を通して行うもの」であることを基本としています。この「環境を通して行う教育」という考え方は、家庭内での親の関わり方にも非常に大切なヒントとなります。

親として「環境を整える」とは、単に高価な教材や玩具をそろえることではなく、子どもが「自分でやってみたい」と思える余白と安心感をつくることです。そこで、家庭では次の3点を大切にするとよいと考えました。

1 「自分でできる」環境の工夫

子どもは、自分で自分のことができるようになると、自信がつき、次への意欲が湧きます。例えば、玩具や服など、子どもが自分で取り出して、自分で元の場所に戻せるようにします。そのときに、「どこにあるかわからない」「高くて届かない」という物理的な壁をできるだけ取り除いてあげてください。子どもが自分で準備・片付けができるような高さや配置（ラベリングや写真で示すのも効果的）を整えるだけ



農業体験を通じた食育の推進



お泊まり会でのパン作り体験

で、子どもは「自分でできた」という達成感を積み重ねることができます。

2 「見守る」余白をもつ

大人はどうしても「早く済ませてほしい」という効率を求めてしまいがちですが、子どもの学びは「迷っている時間」にこそ詰まっているのです。ボタンを留める、靴を履く、道具を並べる。そうした時間は、子どもが自分の体と頭をフル活用している時間です。失敗していてもすぐに手を出さず、「頑張ってるね」「もう少しかな？」と、結果ではなく試行錯誤のプロセスを言葉にしてあげるとよいでしょう。

3 家庭を「心理的安全基地」にする

子どもが外の世界（幼稚園など）で新しいことに挑戦・冒険して疲れたとき、いつでも戻ると「ほっとして元気がもらえる場所」が家庭です。

園での出来事を話すときは、アドバイスよりも「そうなんだね」「楽しかったね」と、子どもの感情をそのまま受け止めることが重要です。自分の思いをそのまま受け止めてくれる人がいる安心感こそが、外の世界へ向かうエネルギーになります。

子どもがいろいろな世界で多くの経験を積み、学びをする中で、親の役割は、教え込む指導者ではなく、「一番の応援団」であることです。ですから、完璧な環境を作る必要はありません。「今日は子どもが自分でやりたがっているな」というサインを、少し立ち止まって見つけてあげるだけで、環境はぐっと豊かになります。

園長 佐野 悦生



お泊まり会での縁豆ごっこ

令和8年度入園児募集中

◎2歳・3歳・4歳児の入園をお待ちしています。

◎募集人員：2歳児 10名、3歳児 10名、4歳児 5名

○入園受付：1年を通して随時受付、入園できます。見学もいつでもできます。

○お問い合わせ：（認）樹徳幼稚園 佐野まで。☎0277-53-5571

桐生市広沢町三丁目4475番地

ホームページ <https://www.jutoku.ed.jp/kinder>

QRコードは、インスタグラム（幼稚園生活の様子）です。



@JUTOKUKINDERGARTEN

8月(正命)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貴 校	幼 稚 園
1	土	校内安全点検 オープンスクールⅠ 全国高等学校総合文化祭	中学校二代目校長ご命日(6回忌) 科学の甲子園ジュニア群馬県大会(1次予選)	父の会イベント
2	日			
3	月	全国高等学校総合体育大会開会式(滋賀県)		預かり保育⑩ 夏季研修会(初級講座)① 安全点検日
4	火	海外科学研修(～8/12)		預かり保育⑪ 夏季研修会(初級講座)②
5	水	校納金納入日	授業料納入日	預かり保育⑫
6	木			預かり保育⑬
7	金	登校日 マイトリー基金抛金日	中学・高校 登校日 マイトリー基金抛金日	預かり保育⑭
8	土			開園日(預かり保育)
9	日			
10	月	振替休日(8/1)	職員振替休日	預かり保育⑮ 保育料納入日
11	火	山の日		
12	水	振替休日(8/29) 三代校長ご命日(五回忌)	本校三代目校長ご命日(五回忌) 職員振替休日	休園日
13	木	盂蘭盆会		
14	金			
15	土			
16	日			
17	月		高校リベハイ⑥	預かり保育⑯ 夏季研修会(中級講座)①
18	火		1,2年生高原学校(尾瀬)～19日 高校リベハイ⑦	預かり保育⑰ 夏季研修会(中級講座)② 園長事務連絡会議
19	水		4～6年河合塾記述模試②	預かり保育⑱
20	木			預かり保育⑲
21	金	1,2,3年河合塾全統記述模試	駿台中学生テスト(希望者)	預かり保育⑳
22	土			開園日(預かり保育)
23	日			
24	月	始業式準備 奨学生審査会① オープンスクール打合せ		預かり保育㉑ キャリアアップ研修
25	火	始業式(大掃除・学年別一斉指導) R9教育実習希望者面接 ITS研修(13:00～)	高校始業式・大掃除	預かり保育㉒
26	水	生徒会役員選挙		2学期始業式
27	木			
28	金	基礎力診断テスト 関東地区私学保護者連合会理事会(茨城)	関東地区私学保護者連合会総会(茨城)	
29	土		中学校模試①	開園日(預かり保育)
30	日			
31	月		中学・高校振替休日(6/7)	

行事予定は変更になる場合があります。ご注意ください。



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

■ 樹徳コミュニティセンター「み法」

・ 8月、9月の予定は未定です。

9月(正精進)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	火	校内安全点検 後期教育実習開始 マイトリー基金拠金日 2年生修旅事前学習開始	校内安全点検 マイトリー基金拠金日 中学始業式・大掃除・服装頭髪指導	安全点検日 地震対応避難訓練 リズム
2	水	探究・LHR 県校長会	中学課題確認テスト	療育支援観察訪問日 英語・文字(年長)
3	木	県高P連本部役員会・理事会	県高P連本部役員会・理事会	体育・文字(年中)
4	金	中高協会定例会(白根開善)	中学進研学力推移調査	プール納め 保護者会役員会
5	土	3年ベネッセ駿台大学入学共通テスト模試(～9日)	土曜補習	開園日(預かり保育)
6	日	秋季関東地区高校野球県予選開幕		
7	月	学年主任会⑤ 教科主任会⑤	授業料納入日 中高LHR	教育実習生受け入れ(～18日まで) 線・(年少)
8	火	日私中高連常任理事会／事務局長会議		リズム・文字(年中)
9	水	探究・LHR	医療倫理・医系進学講座⑤	安全運転管理者講習 英語・文字(年長)
10	木			劇団「ドレミ座」公演 保育料納入日
11	金	中学生入試体験プレテスト会場作成		
12	土	中学生入試体験プレテスト		開園日(預かり保育)
13	日			
14	月	運営委員会③	中学朝礼・高校LHR	線(年少)・文字(年長)
15	火			ボール投げ教室④(年中・年長) リズム 園長事務連絡会議
16	水	就職選考(入社試験)開始 探究・LHR	子ども 夢・アート・アカデミー④	お茶のお稽古③ 英語
17	木	校内研修(いじめ防止)② 制服アフターサービス 私学教科研修(健大高崎)	高校朝礼 三越アフターサービス	体育・文字(年中)
18	金	朝礼		キャリアアップ研修
19	土		6年駿ベ共通テスト模試①	開園日(預かり保育)
20	日			
21	月	敬老の日		
22	火	国民の休日		
23	水	秋分の日		
24	木		中学早朝自主学習(～10/2)	体育・文字(年中)
25	金	後援会役員会②	十五夜 英検1次②	お誕生会(7・8・9月生)
26	土		小学生授業体験会・学校説明会・個別相談会 職員出勤日	開園日(預かり保育)
27	日	オープンスクール3 全商情報処理検定		
28	月	振替休日(9/27)	中高LHR	線(年少)
29	火			リズム
30	水	出欠統計提出 中間テスト(～10月2日)	高校中間試験①(～10/2) 中学自主学習DAY 特別選抜入試事前相談締め切り	英語・文字(年長)

行事予定は変更になる場合があります。ご注意ください。



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671 Mail j-koukou@jutoku.ed.jp

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262 Mail j-chugaku@jutoku.ed.jp

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572 Mail j-youtien@jutoku.ed.jp

Web <https://www.jutoku.ed.jp/>

発行責任者 野口 秀樹 印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく